様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分	地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人ＤＭＯさかい観光局	
マーケティング･マネジメント対象とする区域	福井県坂井市	
所在地	福井県坂井市	
設立時期	令和２年３月１８日	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	２４人【常勤１２人（正職員９人・出向等３人）、非常勤１２人】	
代表理事 （ＣＥＯ） 最高経営責任者	（氏名） 刀根　亨 （出身組織名） ㈱第一望洋楼	代表取締役社長を務める（株）第一望洋楼では、当地を代表する旅館や食事処を経営しており、県内はもちろんのこと県外にも幅広い人間関係を築いている。経営者としての視点に優れ、観光地域づくりを意欲的に取り組んでいる。
事務局長 （ＣＯＯ） 最高執行責任者	（氏名） 八杉　茂樹（専従） （出身組織名） 坂井市	坂井市産業政策部観光産業課長、産業政策部長として約10年間観光関連の業務に携わっており、令和5年度より事務局長として従事。事業部門と管理部門をマネジメントしている。
事業推進課長 事業部門の責任者	（氏名） 栗田　ゆうこ（専従） （出身組織名） 坂井市	坂井市産業政策部観光交流課の課長補佐として、3年間ＤＭＯへの委託事業や補助事業に携わっており、令和6年度より事務局次長 兼 事業推進課長として従事。ＤＭＯの事業全般の管理を行っている。
管理課長 （ＣＦＯ） 最高財務責任者	（氏名） 北山　大介（専従） （出身組織名） 坂井市	坂井市財政課、税務課で8年間税財政関連の業務に携わっており、令和6年度より管理課長として従事。人事や財務、労務管理等を行っている。
マーケティング戦略室長 （ＣＭＯ） 最高マーケティング責任者	（氏名） 吉田　祥也（専従） （出身組織名） （一社）DMO さかい観光局	旧（一社）坂井市観光連盟より従事。事業についてのＰＤＣＡを実施し、客観的な意見・データを収集・分析・活用し当法人の会員向けにニュースレターとして配信している。また、旅行業務取扱管理者の資格を活かし、着地型の旅行商品の造成に取り組んでいる。

様式１

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	坂井市 産業政策部　観光交流課（観光振興・観光地域づくり全般） 商工労政課（企業誘致、商工産業） 農業振興課（農産品・加工品のブランド化） 林業水産振興課（水産品のブランド化、漁業の振興） 総合政策部　企画政策課（地方創生） ふるさと納税推進室（ふるさと納税） 移住定住推進課（移住定住） 生活環境部　公共交通対策課（地域公共交通） 建設部　建設課（道路等インフラ整備） 都市計画課（街並み景観整備及び保全、空き家対策） 教育委員会　文化課（文化振興、文化財保護） 生涯学習スポーツ課（スポーツ振興）
連携する事業者名及び役割	主な連携事業者及び役割は以下のとおり。 【エリア内の観光関連団体】 ・東尋坊観光協会(東尋坊エリア) ・東尋坊まちづくり株式会社（東尋坊エリア） ・(一社）Compath(東尋坊エリア) ・三国サンセットビーチ振興会（東尋坊エリア） ・(一社）三國會所（三国湊エリア） ・(一社）アーバンデザインセンター坂井（三国湊エリア） ・三国祭保存振興会（三国湊エリア） ・NPO 法人ボランティアガイドきたまえ三国（三国湊エリア） ・(一社）丸岡城天守を国宝にする市民の会（丸岡エリア） ・(公財）丸岡文化財団（丸岡エリア） ・丸岡城桜まつり振興会（丸岡エリア） ・丸岡観光ボランティアガイド（丸岡エリア） ・(一社）竹田文化共栄会(丸岡エリア) ・竹田の里づくり協議会（丸岡エリア） 【商業・農業・漁業関連団体】 ・坂井市商工会（加盟組合員） ・福井県農業協同組合（農産品の活用） ・(有）三里浜特産農業協同組合（農産品の活用） ・三国港機船底曳網漁業協同組合（漁業） ・三国港漁業協同組合（漁業） ・雄島漁業協同組合（漁業） ・三国魚商協同組合（漁業） ・三国温泉組合（宿泊施設） ・三国旅館組合（宿泊施設） ・(公財）坂井市文化振興事業団（文化振興） ・越前三国競艇企業団（ボートレース） 【広域観光団体】 ・坂井・あわらエリア周遊滞在型観光推進協議会（着地型商品開発） ・越前加賀インバウンド推進機構（インバウンド） ・(公社）福井県観光連盟（福井県内の広域連携） ・越前加賀広域観光推進協議会（北陸エリアの広域連携） ・ふくい嶺北連携中枢都市圏（福井県嶺北エリアの広域連携） ・福井県広域ウエルネス推進協議会（インバウンド） 【交通機関】 ・えちぜん鉄道株式会社 ・京福バス株式会社 ・福井県レンタカー協会 ・ケイカン交通株式会社 ・西日本旅客鉄道株式会社 ・京福リムジンバス株式会社 ・株式会社ハピラインふくい

様式１

官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】① 一般社団法人として、総会（年１回）、理事会（年３回程度）を開催し、法人としての重要な事案に関する意思決定を行っている。理事及び役員は以下のとおり。

役職	氏名	所属先・職名
代表理事	刀根 亨	㈱第一望洋楼 代表取締役社長
副会長	岩田 龍見	丸岡城桜まつり振興会　会長
理事	佐々木 大二郎	えちぜん鉄道㈱ 取締役兼営業開発部長
理事	清水 誠	芝政観光開発㈱ 代表取締役社長
理事	竹内 修治	㈲たけ庄 代表取締役
理事	半澤 政丈	坂井市商工会 会長
理事	福嶋 輝彦	学識経験者
理事	本村 隆行	一般財団法人休暇村協会 評議員
理事	渡辺 展幸	㈱児玉看板店 代表取締役
監事	大徳 真一	おおとく　オーナーシェフ
監事	亀嶋 政幸	坂井市監査委員

【該当する登録要件】②
地域における観光事業に関わる様々なステイクホルダーや観光に関する有識者を集め、ＤＭＯさかいビジョンを示し戦略を立案することを目的に、一般社団法人ＤＭＯさかい観光局経営委員会を設置。経営委員会（年３回程度開催）では、当観光局の経営全般、ビジョンに関することや観光施策の推進に関することなどについて検討を進めている。委員会のメンバーは以下のとおり。

氏名	所属先･職名	備考
（不在）		委員長
朝倉 由希	公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授	副委員長（学識）
小南 正一	東尋坊まちづくり(株) 代表取締役社長	地元観光業
平野 一美	(一社)三国港市場 代表理事	漁業
瀬野 友伸	(一社)丸岡城天守を国宝にする市民の会 理事長	地元観光業
大川 貞幸	(一社)竹田文化共栄会 代表理事	地元観光業
古木 克典	三国旅館組合　組合長	宿泊業
大嶋 良	福井県農業協同組合坂井営農経済センター センター長	総合農協
齊藤 力	坂井･あわらアグリカルチャースマイルクラブ 会長	生産者
矢﨑 孝明	京福バス(株) 専務取締役	交通事業者
大久保 聡司	坂井市産業政策部 部長	行政
光山 千愛	(株)リクルート Division 統括本部 旅行 Division 地域創造部 中日本グループ グループマネジャー	専門家
筒井 二朗	(公社)福井県観光連盟 インバウンドアドバイザー	専門家
土肥 健夫	(株)事業開発推進機構 代表取締役社長	専門家

様式１

<table>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>

１．観光マーケティングセミナーの開催

・地域における困りごとの打開やビジネスチャンスを掴むキッカケとしていただくことを目的に、アンケートデータの収集・分析により、今何をすべきかを専門的知見により考察した公開セミナーを開催した。（令和７年３月）

２．観光地に対する理解促進及び観光人材の育成

・東尋坊に関する知識習得を目的とした「東尋坊ジオ検定（講習会＋検定試験）」を実施し、地域住民に東尋坊に対する理解を促した。（令和６年７月）
また、検定合格者に対して、東尋坊の観光ガイド（東尋坊マイスター）への移行も促し、観光事業への参画促進にも取組んだ。

</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>

（活動の概要）

<table>
<tr><th>項目</th><th>事業概要</th></tr>
<tr><td>１．
広域周遊を見据えた着地型旅行商品の造成</td><td>

１）東尋坊マイスターによるガイドツアー
東尋坊を地質学の視点からアカデミックにガイディングできる人材育成を行うと共に、ボランティアでの実施が多かったガイドツアーを有料コンテンツとすることで、地域における新たなビジネス創出のきっかけとした。

２）丸岡城御城印重ね捺しスタンプラリー
丸岡城及び周辺施設に設置した５つの柄の違うスタンプを重ね押しして御城印を完成させるスタンプラリーを実施。これにより、周辺施設への誘客及び丸岡城周辺における滞在時間の延長といった効果が得られた。

３）周遊チケットの販売管理
坂井市および隣接するあわら市の協賛店舗で利用できるお得な周遊チケットを販売し、観光客の滞在時間の延長や域内消費額の拡大を図った。

</td></tr>
<tr><td>２．
観光人材の育成</td><td>

１）観光ガイドの支援
東尋坊の観光ガイドである東尋坊マイスターについて、地元の有意な人材等を認定要件に基づいて認定を行う他、東尋坊の知識習得を図る東尋坊ジオ検定を実施した。（令和６年７月）

</td></tr>
<tr><td>３．
地域行催事への支援</td><td>

１）丸岡城桜まつり
丸岡城の観光 PR 及び観光誘客を図るため、桜まつり運営費用の一部を負担した。

２）三国祭
三國神社に奉納する山車を作製する山車人形師の育成・支援を行った。また、祭り会場においては参拝者向けの仮設トイレ設置を行った他、安全対策を実施し、祭り会場の環境改善を行った。

</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

様式１

		３）三国湊かに祭り イベントの実行委員会事務局として、イベントの開催・運営を行い、三国港で水揚げされる越前がにのＰＲを行った。 **４）ライフセーバーの増員配置** 海水浴場の安全・安心を図るために、ライフセーバー設置における支援を行った。 **５）その他** 坂井市内で行われる祭事、イベント等への事業協賛、広報支援を行い、観光誘客の促進を促した。
	４．教育旅行の誘致	**１）旅行商談会等への参加** （公社）福井県観光連盟などが開催する旅行商談会に積極的に参加し、誘致に向けてのＰＲを行った。 **２）旅行会社と連携した教育旅行の誘致** ㈱ＪＴＢ教育事業部と連携し、首都圏の中学校を誘致する事業の３年目。坂井市内の高校生やまちづくり団体等との交流を図りながら、地域の課題解決型体験プログラムを実施した。
	５．高付加価値旅行商品の造成	**１）富裕層向けのウエルネスコンテンツの造成** 心と体の健康を意識した「ウェルネスツーリズム」をキーワードに、幸福度日本一福井における、癒しや食を堪能していただくコンテンツの造成を行った。 **２）丸岡城を活用した特別体験** 閉館後の丸岡城を活用し、一筆啓上を行うコンテンツにおいて、甲冑の着付け体験を加えるなど、外国人観光客向けにカスタマイズを行い販売継続中。 **３）ＴＨＥ ＭＯＲＩＴＡ ＢＡＲ の開催** ナイトタイムエコノミーの促進や文化財の活用を図るため、登録有形文化財である旧森田銀行本店において、飲食や催しを提供するナイトバーを開催した。（令和７年３月）
	６．インバウンド受入体制の整備	**１）免税店登録支援** （公社）福井県観光連盟のインバウンドアドバイザーと協働し、坂井市内の観光事業者に対し、免税店登録・導入のための申請方法の支援などを行い、免税店舗数の増加促進を行った。 **２）ホームページの多言語化** 坂井市観光情報サイトの英語ページの運営。 **３）動画の作成・配信** 観光情報や How to などを紹介する英語版の動画を作成し、YouTube で配信した。 **４）ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所の運営** 外国人観光客の安心を担保するために、三国駅観光案内所の案内体制を構築し、ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所カテゴリー２の認定を受け、運営を行っている。

様式１

	７． 目標管理に基づくデータマーケティングの推進	**１）ビックデータを活用した人流の把握** アプリケーションなどによる位置情報を収集・分析できる企業から情報を購入。得られた情報を基に、入込数や観光客の動向について把握・分析を行った。 **２）専門家人材によるコンサルティング** マーケティングやデータ活用による観光地経営を行うため、専門人材にコンサルティング業務を委託。データの収集や活用方法などについて協議するデータミーティングを月 1～2 回開催した。 **３）ＮＥＷＳ　ＬＥＴＴＥＲでの情報共有** 当観光局会員に活動報告等を行うために毎月発刊している機関紙において、ビックデータで得られたデータや各種データの分析結果を会員のビジネスにも活かしてもらえるよう提供した。 **４）域内調達率調査** 域内における調達状況を把握し、域内での経済活動を活発化させることにより、更なる経済効果の波及を図ることを目的に、域内の 2 事業者にヒアリングを行った。（令和 6 年 12 月）
	８． 地域商社機能の形成	**１）軽井沢発地市庭での坂井市フェアの開催** 「豊穣のめぐみ食材・魅力フェア」と称して、軽井沢町の発地市庭にて、坂井市の物産品等を販売。今後、継続的な物産販売につなげていく。 **２）首都圏での食材ＰＲ** 戸越銀座にある坂井市アンテナショップとの連携強化や、首都圏にある福井県のアンテナショップにおいて、都内のミシュラン星を獲得しているシェフと協働で坂井市内の食材を使った料理の提供を行い、食の魅力のＰＲを行った。
	９． 観光情報の発信	**１）広告掲載** 時節に応じた新聞、雑誌への広告掲載及び高速道路ＳＡでの観光パンフレット配架を行った。 **２）ホームページ運営、ＳＮＳの活用** 坂井市観光情報サイトを運営する他、Instagram を中心としたＳＮＳでの情報発信強化を行った。 **３）広報資材の作成、配布** 坂井市観光パンフレットやポスターを作製し、観光客が訪れる観光施設等への配架を行った。 **４）出向宣伝・商談会への参加** 福井県等が実施する実施する出向宣伝や商談会に参加し坂井市のＰＲを行った。また、会員事業者に向けた商談会等参加の支援も行った。 **５）東尋坊三国温泉のＰＲ** 知名度が低かった「三国温泉」について、有名観光地である「東尋坊」を冠につけることでの知名度アップを狙う。この名称変更を行った東尋坊三国温泉について、プロモーションを行うことで、宿泊客数の増加を図った。

１０． 観光案内所の運営	**１）旅行者の窓口対応** 三国駅観光案内所を運営し、窓口に訪れた観光客や電話での問合せ対応を行った。対応内容は記録し情報共有を行う他、窓口業務対応力の向上や観光客のニーズを掴むデータとして活用した。 **２）デジタルサイネージの運営** 坂井市の観光情報が詰まったデジタルサイネージを観光案内所に設置し、非接触での観光案内も可能とした他、職員の業務改善にも繋がった。 **３）各種キャンペーンや物販への協力** 市や県、国などが実施する各種キャンペーンやスタンプラリーなどのポイントとして場所を提供している他、えちぜん鉄道の御乗印などの旅行商品の物販も行った。

（定量的な評価）

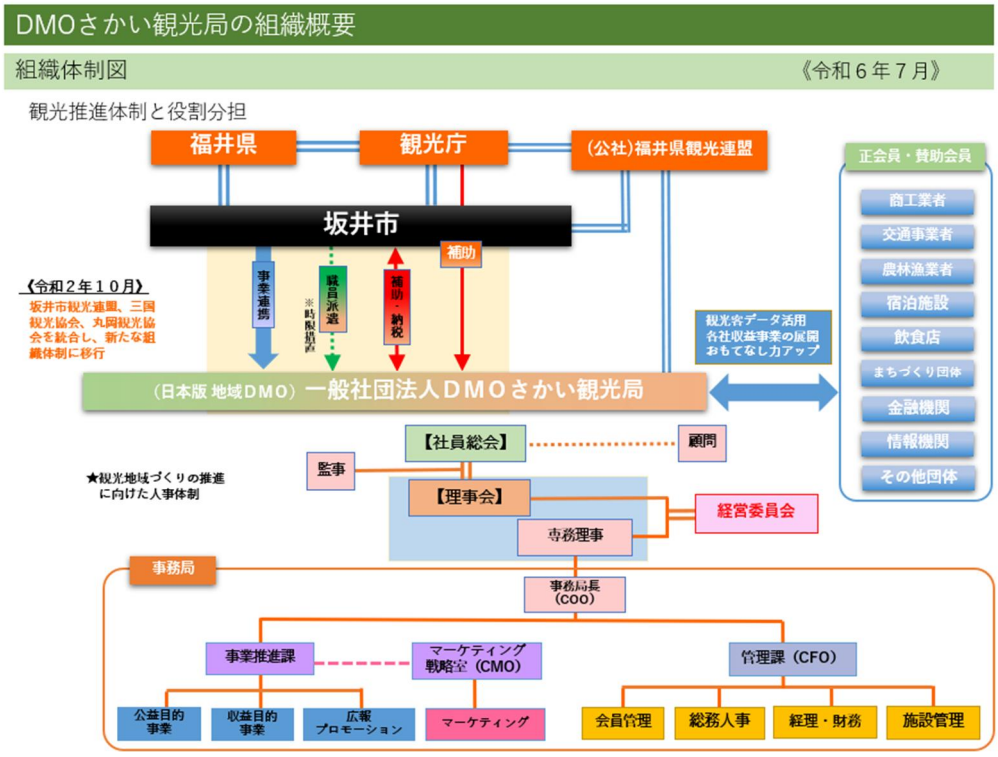
１．主要観光地別入込数（単位：千人）

	2021 年（R3 年）	2022 年（R4 年）	2023 年（R5 年）	2024 年（R6 年）
東尋坊	451	620	801	778
三国湊	345	283	343	420
丸岡城	172	169	207	203
芝政ワールド	199	276	323	402
越前松島水族館	195	262	269	303

２．延べ宿泊者数（単位：千人）

	2021 年（R3 年）	2022 年（R4 年）	2023 年（R5 年）	2024 年（R6 年）
延べ宿泊者数	160	210	222	230

様式１

実施体制	（実施体制の概要） 地域に根差した活動を行ってきた既存の各観光団体（(一社）坂井市観光連盟・坂井市三国観光協会・坂井市丸岡観光協会）を統合し、事業や人材を継承。事業のモレ・ダブリを解消する他、行政、商工会、宿泊事業者、観光事業者、交通事業者、農林漁業者など多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施するとともに、マーケティングに基づいた戦略立案や、エリア内のマネジメントに重点を置いた活動を展開している。 （実施体制図） 

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

様式１

【区域設定の考え方】

統合を行う前の旧観光３団体が所管していたエリアを継承する他、坂井市が策定した「坂井市観光ビジョン戦略基本計画」に基づく観光振興に向けた取り組みを実施するため、福井県坂井市全域がマーケティング・マネジメントを行う区域の設定として適切であると考えている。一方で、この区域に限定せず、顧客の多様なニーズに対応するため、観光資源、温泉、公共交通機関などを有する周辺市町との広域連携も重要であると認識している。

【観光客の実態等】

	2021 年 （R3 年）	2022 年 （R4 年）	2023 年 （R5 年）	2024 年 （R6 年）
観光入込客数（千人）	2,885	3,616	4,439	4,597
延べ宿泊客数（千人泊）	160	210	222	230
観光消費額（千円）	15,902	13,954	19,622	24,605

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光資源の特徴などから３つにゾーニングして記述する。

◆ネイチャー＆アクティブゾーン

日本海に面する海岸線は、長い年月をかけて出来た様々な形をした岩柱（東尋坊・雄島・越前松島）が織り成す絶景が続く他、関西・中京圏から集客がある芝政ワールドや越前松島水族館があり、県内最大の観光エリアである。また、周辺には、温泉地として２０軒を超える民宿やホテルが点在している（東尋坊三国温泉）。坂井市の東側の中山間地域には、「たけくらべ広場（キャンプ場）」や体験型宿泊施設「ちくちくぼんぼん」、自然が織りなす癒しの宿「丸岡温泉たけくらべ」があり、アウトドアや教育旅行などファミリー層や学生に人気のある施設がある。

イベントでは、水中花火が名物の「三国花火」が毎年８月、三国サンセットビーチで開催される。

◆レトロゾーン

北前船寄港地として日本遺産の認定を受けた三国湊は、町家や豪商の面影が残る歴史的建造物など情緒ある街並みが残り、国の名勝に指定されている瀧谷寺（庭園）がある。

三国湊では、北陸三大祭りのひとつといわれる三国祭（福井県指定無形民俗文化財）が毎年５月に開催され、三國神社には武者人形山車が奉納される。

◆歴史ヒストリアゾーン

丸岡町は、現存 12 天守の１つである丸岡城（重要文化財）や明智光秀とゆかりの深い称念寺がある。丸岡城周辺には、一筆啓上日本一短い手紙の館があり、毎年多くの手紙作品が寄せられ展示されている。

また、丸岡城では桜まつりが催され、日本の桜 100 選にも選ばれている。

様式１

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

（単位　軒：人）

	ホテル･旅館		民宿･ペンション		国民宿舎その他		キャンプ場		合計	
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員
ネイチャー＆アクティブ レトロ	3	622	48	1,261	1	96	4	990	56	2,969
歴史ヒストリア	0	0	3	156	0	0	0	0	3	156
計	3	622	51	1,417	1	96	4	990	59	3,125

【利便性：区域までの交通、域内交通】

【外国人観光客への対応】

以下の様な受け入れ環境整備を行っていく。

・観光地におけるＷｉ－Ｆｉの整備

・観光事業者の免税・キャッシュレス決済機導入サポート

・観光ガイド、観光案内所職員、観光事業者向けの外国人観光客対応研修の開催

３．各種データ等の継続的な収集・分析

福井県や坂井市と協同し、マーケティングに必要なデータの収集を行う。

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光地の入込状況調査	観光の動向を把握し今後の改善に繋げるとともに、施策やイベントの効果を評価するため。	施設への聞き取りの他、定点人流観測サービスにより実施。
延べ宿泊者数	観光の動向を把握し今後の改善に繋げるとともに、施策やイベントの効果を評価するため。	施設への聞き取りを実施。

旅行消費額	来訪者の消費動向を把握し、必要な改善策を講じ消費単価向上に繋げるため。	福井県観光連盟のアンケート調査より坂井市分のデータを抽出。 ※当局独自の定期的なアンケート調査による来訪者の意向調査を副次的・補足的データソースとする。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）度及びその要因を把握し、必要な改善策を講じ満足度向上に繋げるため。	福井県観光連盟のアンケート調査より坂井市分のデータを抽出。 ※当局独自の定期的なアンケート調査による来訪者の意向調査を副次的・補足的データソースとする。
リピーター率	リピーター客と新規客の割合を把握しそれに応じた対策を講じるため。	福井県観光連盟のアンケート調査より坂井市分のデータを抽出。 ※当局独自の定期的なアンケート調査による来訪者の意向調査を副次的・補足的データソースとする。
WEB サイトアクセス数	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため	Google アナリティクスを活用して実施

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

全国的な人口減少と少子高齢化は坂井市においても進展しており、産業や暮らしに大きな影響を及ぼすことが懸念されている。しかし、本市には、四季折々の豊かな恵みをもたらす海、川、里、山をはじめ、北陸を代表する景勝地「東尋坊」、国内現存１２天守の一つである「丸岡城」や北前船寄港地として日本遺産に認定された「三国湊」など、際立った魅力を持つ観光資源や地域資源が数多くあり、これら本市固有の資源を生かした観光振興による地域の活性化が、これまで以上に強く期待されている。
また２０２４年３月には北陸新幹線が福井・敦賀まで延伸開業し、２０２５年には大阪・関西万博の開催、２０２６年春には中部縦貫自動車道全線開通（予定）など、交通インフラの整備や大型イベントの開催が待ち受けており、本県における交流人口、中でもインバウンド需要の拡大が見込まれ、これを１００年に１度のまたとない好機と捉え、福井県と一体となって新たな人の流れを本市へと取り込むことにより、一層の経済的・社会的効果を生み出すことが求められている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** 【観光資源】 ・東尋坊の知名度は全国でも高い ・日本で現存する１２天守の一つである丸岡城がある ・北前船寄港地である三国湊が日本遺産認定された ・北陸随一の花火大会を三国サンセットビーチにて開催 ・北陸三大祭りのひとつ三国祭がある ・海・山・川・里など自然環境が豊か 【観光資源（食）】 ・「越前がに」「おろしそば」「竹田の油あげ」「若狭牛」「越のルビー」「３年子らっきょ」という食のブランドがある ・「越前がに」「ふくい甘えび」「はたはた」等の海産物が豊富 【その他資源】 ・「日本一短い手紙」という全国規模の文化事業を実施 ・福井県総合グリーンセンター・福井県児童科学館など人気のある県有施設が点在している ・スポーツ施設（ヨット、サーフィン、陸上競技場、野球場、サッカー場７面、体育館１０館、テニスコート等）が充実	**弱み（Weaknesses）** 【観光地】 ・通訳や広範囲な観光地をガイドできる人材が少ない ・通過型観光が多い（観光消費が少ない） 【宿泊】 ・宿泊施設に個室が少ない ・修学旅行の受け入れ可能な施設が少ない ・ナイトタイムエコノミーへの対応ができていない 【交通】 ・二次交通が不便（所要時間、乗継、ダイヤ、料金） 【受入環境】 ・キャッシュレス対応店舗が大都市等と比べて少ない ・無料 Wi-Fi などのモバイルネット環境が十分とは言えない

様式１

	機会（Opportunity）	脅威（Threat）
外部環境	【全般】 ・2025 年大阪・関西万博の開催、ワールドマスターズゲームズ 2027 関西 【交通】 ・北陸新幹線福井・敦賀延伸開業、中部縦貫自動車道の整備 【宿泊・施設】 ・食が観光の大きな目的となっている	【全般】 ・人口減少による国内旅行者の減少 【情報発信】 ・旅行雑誌・観光ガイドの販売部数が減少している ・SNS の乱立・情報が拡散している（正確な情報を入手し辛い） 【宿泊】 ・温泉地の地域間競争が熾烈化している

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
関東圏、関西圏・中京圏を中心とした夫婦

〇選定の理由
北陸新幹線福井・敦賀延伸開業にて新幹線でつながる関東圏（14%）からの新たな集客を狙いたい。また、当地への来訪が多い関西圏（37%）・中京圏（25%）については引き続き集客を図っていく。いずれの圏域も、既に当地への来訪が多い夫婦《40%》をターゲットとして選定する。
※（ ）内数字は、令和 6 年度福井県観光客入込数より算出
※《 》内数字は、令和 6 年度（公社）福井県観光連盟アンケート「@FTAS」より坂井市分を抽出して算出

〇取組方針
満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいたターゲット層に強力に訴求するプロモーションの展開とともにコンテンツを磨き上げる。また、令和 6 年 3 月 20 日に連携協定を締結した、（一社）軽井沢観光協会との連携強化により、関東方面からの誘客促進を図る。

〇第２ターゲット層
台湾・香港を中心としたアジア諸国

〇選定の理由
福井県は台湾（22%）、香港（18%）からの来訪が多く、また市場としても今後拡大傾向にあることに加えて、物理的な距離も近く、日本へのシンパシーも高いことから、ターゲットとして選定する。
※（ ）内数字は、令和 6 年度宿泊旅行統計より算出

〇取組方針
（公社）福井県観光連盟のインバウンドアドバイザーとも連携し、インバウンド受け入れ体制の整備を進めていく。また、越前加賀インバウンド推進機構等との連携により、広域で誘致活動に取り組んでいく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	**「さかい」の魅力と誇りを　人から人へ** ～「ひと・もの・こと・とき」で　坂井市仕立てのおもてなし ～ ～ 顧客満足度と市民幸福度の最大化 ～
②コンセプトの考え方	東尋坊などの豊かな自然や丸岡城や三国湊町に息づく悠久の歴史・文化をはじめ、おもてなしを通した市民と来訪者との交流やそこで共有される経験や時間が、「さかい旅」の魅力として浸透し、幸福感や再来訪の意欲とともに広がっていくことを目指します。 さらに、すべての市民・事業者が心を響かせ合った観光振興への取り組みが、「さかい暮らし」への新たな誇りや愛着の気持ちとして醸成されていくことを見据えます。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度がわかるように記入すること。	・観光事業者、宿泊事業者、交通事業者、坂井市商工会、金融機関、報道機関等を正会員とした社員総会を開催し、当法人の運営・事業等についての意思決定を行う。（年１回） ・観光事業者、有識者、行政職員等を委員とした経営委員会を設置し、戦略の推進・検討及び共有を図る。（年３回程度） ・当法人の活動やデータに基づく分析結果などニュースレターとして配信し、会員に対して活動の共有を行うと共に、有益な情報を提供することで、地域の底上げを図る。（月１回程度）
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	・観光案内所で案内を行った内容の記録を行う。そのデータを分析し、来訪者の属性や観光客の要望・不満などを把握することで、サービス提供のあり方や内容の改善を図っていく。 ・モニターツアー等において参加者アンケートを実施し、内容の満足度を測りながら事業の改善を図っていく。（ＰＤＣＡサイクル） ・観光ガイドの評価制度等を構築し、観光客に対し、安心・安全のサービスを提供していく。（東尋坊マイスター認定制度）
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	・旧観光 3 団体が行っていた情報発信・プロモーションを一元化した。今後は、紙媒体に加え Web、SNS 等を活用し、より戦略的な情報発信を行っていく。 ・坂井市移住定住推進課及び坂井市観光交流課との間で定期的なプロモーション戦略の検討を行いながら､坂井市としての一元的な情報発信・プロモーションを展開していく。 ・当地にある豊富な食を全面に打ち出し「美食の郷 越前坂井」としてブランド化を目指す事業を実施｡飲食店の底上げを図る食に関するセミナーの開催や軽井沢における食のＰＲなど､食を全面に打ち出したプロモーションを展開している。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022 （Ｒ４） 年度	2023 （Ｒ５） 年度	2024 （Ｒ６） 年度	2025 （Ｒ７） 年度	2026 （Ｒ８） 年度	2027 （Ｒ９） 年度
●旅行消費額 （百万円）	目標	23,000	25,000	27,500	27,500	27,500	27,500
		（－）	（－）	（－）	（－）	（－）	（－）
	実績	13,954	19,622	24,605			
		（－）	（－）	（－）			
●延べ宿泊者数 （千人）	目標	215.0	230.0	240.0	240.0	240,0	240,0
		(4.0)	(5.0)	(6.0)	(6.0)	(6.0)	(6.0)

	実績	209.7 (0.3)	221.6 (0.9)	229.6 (1.3)			
●来訪者満足度（%）	目標	4.20 (－)	4.30 (－)	4.35 (－)	4.35 (－)	4.35 (－)	4.35 (－)
	実績	4.20 (－)	4.14 (－)	4.19 (－)			
●リピーター率（%）	目標	74.9 (－)	75.0 (－)	75.1 (－)	75.1 (－)	75.1 (－)	75.1 (－)
	実績	57.1 (－)	56.4 (－)	55.7 (－)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・坂井市観光ビジョン戦略基本計画では、２０２３年（令和５年度）における目標値が定められている。観光消費額３１０億円、年間国内宿泊者数２０万人、年間外国人宿泊者数２万人、観光客入込数６００万人。しかし、新型コロナウイルスの影響による観光客入込数の減少や、今後 with コロナの経済情勢も不透明であることを考慮し、２０２０年度にＫＰＩの再設定を行った。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

・（公社）福井県観光連盟が実施したアンケートより坂井市分を抽出し算出した一人当たり観光消費額を基に、坂井市の観光入込客数により算出している。

・２０２１年度は新型コロナウイルスの影響を受けることを想定した数値で設定。以降は順当に回復させ、２０２４年の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業年度に２０１９年度の水準まで回復させることを目標とし、２０２４年以降は、新幹線開業効果を維持していくことを目標とした。

●延べ宿泊者数

・坂井市観光入込客数の宿泊調査を基に算出。（坂井市より）

・２０２１年度は新型コロナウイルスの影響を受けることを想定した数値で設定。以降は順当に回復させ、２０２４年の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業年度に２０１９年度の水準まで回復させることを目標とし、２０２４年以降は、新幹線開業効果を維持していくことを目標とした。

●来訪者満足度

・目標数値は「ふくい観光ビジョン」より引用（２０２４年に５５%を達成するために必要な増加率をもとに設定。）していたが、令和４年度より（公社）福井県観光連盟のアンケート調査にあわせ、5 段階評価による目標設定に変更した。２０２２年度の実績をもとに、２０２４年の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業まで段階的に高めていき、２０２４年以降は、満足度を維持していくことを目標とした。

●リピーター率

・当地のリピーター率は過去あまり変化がなく、２０１９年は７４．６ポイントであったことから、２０２１年の数値を７４．８ポイントに設定。ここ数年、国や県が実施する旅行支援などにより新規客が増え、相対的にリピーター率が減っているが、この傾向は支援策打ち切りとともに和らぐと推測する。また、２０２４年３月の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業により関東圏からの新規客が増えることが想定されるため、引き続き高い目標を持ち、繰り返し来ていただくファンを増やすことを優先したいため、年０．１ポイント増加とする目標設定とし、２０２４年以降は、リピーター率を維持していくことを目標とした。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●主要観光地入込数（千人）	目標	1,735	2,000	2,500	2,500	2,500	2,500
		（－）	（－）	（－）	（－）	（－）	（－）
	実績	1,328	1,600	1,686			
		（－）	（－）	（－）			
●Web サイトのアクセス数（View）	目標	400,000	450,000	550,000	605,000	665,500	732,000
		（－）	（－）	（－）	（－）	（－）	（－）
	実績	693,282	542,227	554,325			
		（－）	（－）	（－）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・行政との連携による一体的な観光まちづくりを推進するため、マーケティング機能とマネジメント機能を兼ね備えたＤＭＯさかい観光局が各種事業を遂行していく上で、必要な独自ＫＰＩを設定する。
【設定にあたっての考え方】
●主要観光地入込数
・主要観光地である**東尋坊、芝政ワールド、越前松島水族館、丸岡城**の入込数を設定。
・２０２４年の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業年度に２０１９年度の水準まで回復させることを目標とし、以降、その水準を維持していく目標設定とした。
●Web サイトアクセス数（ページビュー数）
・２０２３年度に Web サイトのリニューアルを図り、２０２４年の北陸新幹線福井・敦賀延伸開業年度に 550,000 ビューを目指すことを目標とし、以降、１割ずつ増やしていく目標設定とした。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳	
2022（R4）年度（決算）	82,582,000（円）	【市からの補助金】	35,000,000 円
		【国からの補助】	3,340,000 円
		【受託事業】	27,054,000 円
		【会費収入】	2,440,000 円
		【収益事業収入】	14,483,000 円
		【その他】	265,000 円

様式１

2023（R5） 年度 （決算）	95,555,000（円）	【市からの補助金】 【国からの補助】 【受託事業】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他】	31,020,000 円 11,689,000 円 43,091,000 円 5,169,000 円 4,586,000 円 0 円
2024（R6） 年度 （決算）	101,606,000（円）	【市からの補助金】 【国からの補助】 【受託事業】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他】	35,718,000 円 10,611,000 円 42,564,000 円 4,833,000 円 7,366,000 円 514,000 円
2025（R7） 年度 （見込み）	100,705,000（円）	【市からの補助金】 【国からの補助】 【受託事業】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他】	37,000,000 円 0 円 50,200,000 円 5,000,000 円 8,500,000 円 5,000 円
2026（R8） 年度 （見込み）	103,010,000（円）	【市からの補助金】 【国からの補助】 【受託事業】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他】	36,000,000 円 5,000,000 円 48,000,000 円 5,000,000 円 9,000,000 円 10,000 円
2027（R9） 年度 （見込み）	103,010,000（円）	【市からの補助金】 【国からの補助】 【受託事業】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他】	35,000,000 円 5,000,000 円 48,000,000 円 5,000,000 円 10,000,000 円 10,000 円

（２）支出

年（年度）	総支出（円）	内訳	
2022（R4） 年度 （決算）	82,160,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 【運営管理費等】	24,798,000 円 13,733,000 円 43,629,000 円
2023（R5） 年度 （決算）	93,229,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 【運営管理費等】	49,525,000 円 3,494,000 円 40,210,000 円
2024（R6） 年度 （決算）	94,431,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 【運営管理費等】	50,029,000 円 4,178,000 円 40,224,000 円
2025（R7） 年度 （見込み）	96,862,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 【運営管理費等】	45,400,000 円 5,262,000 円 46,200,000 円

2026（R8） 年度 （見込み）	95,000,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 43,000,000 円 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 5,710,000 円 【運営管理費等】 46,200,000 円
2027（R9） 年度 （見込み）	95,200,000（円）	【公益的事業費】（受託事業等） 43,000,000 円 【収益的事業費】（着地型商品販売等） 6,000,000 円 【運営管理費等】 46,200,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

当法人は、坂井市観光ビジョン戦略基本計画の推進体制の中心に位置づけられ、計画を遂行するために坂井市から補助金及び委託費による支援を受けている。この金額と内容については、毎年度坂井市と協議し、計画推進のための予算確保を行っている。一方、自主財源の確保については、施設管理の受託の他、以下の取り組みにより、経営の安定化を図ると共に、事業拡大に向けた資金の確保を目指していく。尚、この取り組みについては、民業圧迫にならないように、地元関係者との信頼関係を築きつつ連携を図り、持続可能な経営を確立すべく、自主財源を得る仕組みを構築していくものとする。
【運営資金確保のための主な取り組み】
官民の特徴が最高度に発揮・発現出来るよう
・市や関連団体等からの委託業務を積極的に受託していく。
・国の補助事業や補助メニューの活用に積極的に取り組んでいく。
・当法人の活動に賛同する会員による会費収入により資金を確保する。
・着地型旅行商品販売等の収益事業の実施により資金を確保する。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

「一般社団法人ＤＭＯさかい観光局」は、坂井市観光ビジョン戦略基本計画の推進体制の中心に位置付けられており、市の観光振興の推進や観光地域づくりには欠かせない団体になっています。
今後は、自主財源を得るための仕組みづくりとして、観光ビッグデータの分析結果を活かし、エリア全体の観光客誘致と収益向上を兼ね備えた事業の構築を期待しています。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】
該当なし

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	吉田　祥也
担当部署名（役職）	マーケティング戦略室　室長
郵便番号	９１９－０５１１
所在地	福井県坂井市坂井町長畑 7-6-5

電話番号（直通）	０７７６－５０－３２００
ＦＡＸ番号	０７７６－５０－３２０１
Ｅ－ｍａｉｌ	info@dmo-sakai.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	福井県坂井市
担当者氏名	松村　有香
担当部署名（役職）	産業政策部　観光交流課　主査
郵便番号	９１９－０５９２
所在地	福井県坂井市坂井町下新庄 1-1
電話番号（直通）	０７７６－５０－３１５２
ＦＡＸ番号	０７７６－６８－０４４０
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.fukui-sakai.lg.jp

（登録）【地域DMO】 一般社団法人　DMOさかい観光局

様式２

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
福井県 坂井市
【設立時期】 令和2年3月18日
【設立経緯】
区域の複数の観光協会が統合してDMO新設
【代表者】 刀根　亨
【マーケティング責任者（CMO）】 吉田　祥也
【財務責任者（CFO）】 北山　大介
【職員数】 24人（常勤12人（正職員9人・出向等3人）、非常勤12人）
【主な収入】
事業費　66百万円、補助金　36百万円（R6年度決算）
【総支出】
事業費　54百万円、運営管理費　40百万円（R6年度決算）
【連携する主な事業者】
坂井市、坂井市商工会、福井県農業協同組合、えちぜん鉄道（株）、三国温泉組合、（公社）福井県観光連盟、その他

KPI（実績・目標）

記入日：　令和　7年　7月　1日

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（百万円）	目標	23,000（－）	25,000（－）	27,500（－）	27,500（－）	27,500（－）	27,500（－）
	実績	13,954（－）	19,622（－）	24,606（－）	―	―	―
延べ宿泊者数（千人）	目標	215.0（4.0）	230.0（5.0）	240.0（6.0）	240.0（6.0）	240.0（6.0）	240.0（6.0）
	実績	209.7（0.3）	221.6（0.9）	229.6（1.3）	―	―	―
来訪者満足度（%）	目標	4.20（－）	4.30（－）	4.35（－）	4.35（－）	4.35（－）	4.35（－）
	実績	4.20（－）	4.14（－）	4.19（－）	―	―	―
リピーター率（%）	目標	74.9（－）	75.0（－）	75.1（－）	75.1（－）	75.1（－）	75.1（－）
	実績	57.1（－）	56.4（－）	55.7（－）	―	―	―

戦略

【主なターゲット】
関東圏・関西圏・中京圏を中心とした夫婦

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいたターゲット層に強力に訴求するプロモーションの展開とともにコンテンツを磨き上げる。また、令和6年3月20日に連携協定を締結した（一社）軽井沢観光協会との連携強化により、関東方面からの誘客促進を図る。

【観光地域づくりのコンセプト】
「さかい」の魅力と誇りを　人から人へ
～「ひと・もの・こと・とき」で　坂井市仕立てのおもてなし～
～ 顧客満足度と市民幸福度の最大化 ～

具体的な取組

・広域周遊を見据えた着地型旅行商品の造成
・観光人材の育成　※①
・地域行催事への支援
・教育旅行の誘致
・高付加価値旅行商品の造成　※②③
・インバウンド受入体制の整備
・目標管理に基づくデータマーケティングの推進
・地域商社機能の形成
・観光情報の発信
・観光案内所の運営

①東尋坊観光ガイド育成事業「東尋坊マイスター認定制度」の運営

②文化財の活用・夜間の時間市場の創出
「THE MORITA BAR」開催

③丸岡城を活用した特別体験。「丸岡城天守で一筆啓上体験プラン」開催